

## 報告事項カ

今後の県立高等学校の在り方に関する基本方針（案）（平成25年度～平成30年度）に係るパブリックコメントの実施結果について

今後の県立高等学校の在り方に関する基本方針（案）（平成25年度～平成30年度）に係るパブリックコメントの実施結果について、別紙のとおり報告します。

平成24年4月17日

鳥取県教育委員会教育長 横 濱 純 一

今後の県立高等学校の在り方に関する基本方針（案）（平成25年度～平成30年度）  
に係るパブリックコメントの実施結果について

平成24年4月17日  
高等学校課

「今後の県立高等学校の在り方に関する基本方針（案）（平成25年度～平成30年度）」について実施したパブリックコメントの概要は、以下のとおりでした。

1 パブリックコメントの実施状況

(1) 応募期間：平成24年2月27日（月）～平成24年3月23日（金） 約1ヶ月

(2) 意見聴取内容

生徒減への対応      特色ある学科・コースの編成      地域と連携した教育の推進

(3) 応募状況

応募人数（34名 / 電子メール：26名、ファクシミリ：7名、郵送：1名）

<居住地別> 鳥取市：4名、米子市：10名、倉吉市：2名、八頭町：1名、湯梨浜町：1名、琴浦町：1名、  
大山町：2名、日野町：1名、日南町：7名、不明：5名

<年代別> 30代：4名、40代：11名、50代：11名、60代：4名、不明：4名

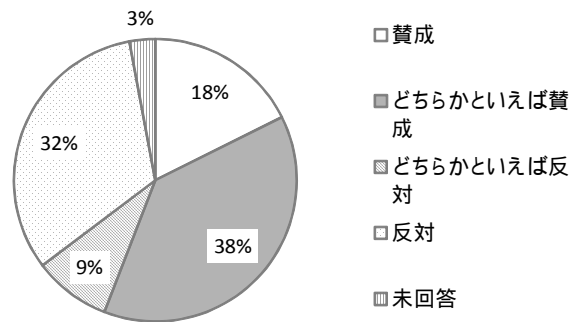
2 応募のあった意見の概要

**生徒減への対応**

<アンケート結果>

生徒減への対応は、学級定員減ではなく  
8学級程度の学級減で対応すること

賛	成	：	6名	
どちらかといえば賛成	：	13名		
どちらかといえば反対	：	3名		
反	対	：	11名	
未	回	答	：	1名



「賛成」、「どちらかといえば賛成」を選んだ理由・主な意見

学校数を減じてはならない。特に旧郡部の学校は教育の機会均等を図るためにも絶対に残すべき。生徒減に対しては学級数を減らすのはやむを得ないが、中山間地では学校の存続ができなくなる。地域や学校等の意見を聞いて対応してほしい。  
生徒数が増加するとは予想できないので、いずれ学級減でしのぎ切れない時期が来ると考えるが、その前に「地域と連携した教育の推進」を積極的に行い、合理化を進めることが大切。

「反対」、「どちらかといえば反対」を選んだ理由・主な意見

学級減ではなく学級定数減で対応すべき。生徒減少期をより細かい教育環境づくりのため、教職員一人当たりの生徒数を減らし、個々の生徒に関われる時間確保をしていくべき。  
日野高校などのように、既に子どもの数が減っているところは、1学級の定員数を20名程度にしないと学校自体が存続しない。どんなに小さくなくても、学校は残す必要がある。学校がなくなれば、地域も衰退する。

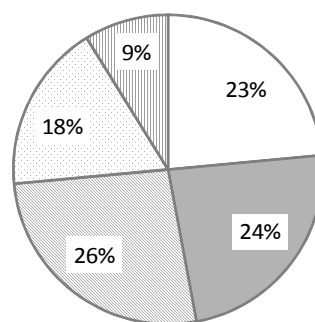
## 特色ある学科・コースの編成

### 環境エネルギーの分野

< アンケート結果 >

#### スマートグリッド社会に対応できる電気、制御等の知識を持った人材を育成する学科等の編成

賛成	成	8名
どちらかといえば賛成		8名
どちらかといえば反対		9名
反対	対	6名
未回答	答	3名



- 賛成
- どちらかといえば賛成
- ▨ どちらかといえば反対
- 反対
- ▨ 未回答

#### 「賛成」、「どちらかといえば賛成」を選んだ理由・主な意見

大震災等の影響もあり、エネルギー問題に対して全国的に関心が高まっている中、重点的に課題解決が急がれる分野。鳥取県を再生可能エネルギーの先進県とするため是非実現して欲しい。IT社会であること、また昨年の東日本大震災が起きたことで、電気の使い方や大切さについて見直す必要があると思うので、専門的知識を持った人材を増やすことは必要。

#### 「反対」、「どちらかといえば反対」を選んだ理由・主な意見

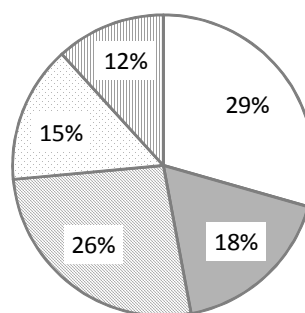
この分野は、工業の基礎ができていればすべて解決する。特定の分野が注目されているから強化するのではなく、様々な分野に対応できる基本的な部分を十分理解した生徒を育成すべき。中等教育では特色のある学科等を設置したところで施設設備などに限界があり、中途半端なものにしかならないのは目に見えている。多様な進路に対応する普通科高校を増やすべき。

### 福祉の分野

< アンケート結果 >

#### 幼児、老人、障がい者などを対象とした幅広く福祉について学ぶような学科等の編成

賛成	成	10名
どちらかといえば賛成		6名
どちらかといえば反対		9名
反対	対	5名
未回答	答	4名



- 賛成
- どちらかといえば賛成
- ▨ どちらかといえば反対
- 反対
- ▨ 未回答

#### 「賛成」、「どちらかといえば賛成」を選んだ理由・主な意見

高校で資格が取ればベストであるが、実習時間等の問題もあり、難しい場合は、上級学校につながる学科・コースを目指すべき。安心して暮らせる福祉社会の構築は、少子高齢化が加速的に進行する日本において急務な課題である。今の時代に不可欠であり、最も研究が必要とされる分野である。

#### 「反対」、「どちらかといえば反対」を選んだ理由・主な意見

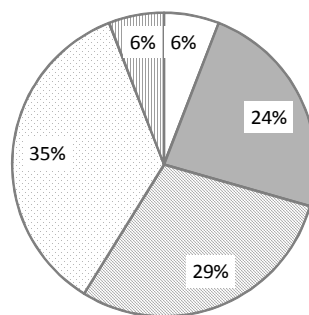
中学校卒業段階では、具体的な進路目標が明確ではない生徒が多く、専門的な学科等を増やしても、生徒が入学後なかなか適応できないのでは。高校教育で介護などの資格を取得すること、また15歳の段階で将来の職業を決めることは無理がある。福祉ではなく人を大切にする事の大切さを中心に学ぶということであれば、将来福祉の方面に進む人もそうでない人もいいと思う。その「程度」の福祉の学科であれば賛成。

## 文化芸術の分野

< アンケート結果 >

### まんがを含むメディア芸術などの文化芸術分野を学ぶような学科等の編成

賛成： 2名  
 どちらかといえば賛成： 8名  
 どちらかといえば反対： 10名  
 反対： 12名  
 未回答： 2名



- 賛成
- どちらかといえば賛成
- ▨ どちらかといえば反対
- 反対
- 未回答

### 「賛成」、「どちらかといえば賛成」を選んだ理由・主な意見

将来漫画家になりたい、アニメ業界に関わる仕事に就きたいと夢みる人は、クラスに必ずやいるのではないかと感じる。夢でなくチャンスを与えてくれそうで、とても魅力のある学科だと感じる。古くからの伝統を受け継いでいくことの大切さを考えたり、新たなアニメーション技術が増えていく中での取り込みなど、芸術や文化に対する関心は高くなっていると思う。

### 「反対」、「どちらかといえば反対」を選んだ理由・主な意見

高校では普通教育を大切にしたい。普通教育の中で、芸術分野やアニメ分野を選択できる（将来の職業としてではなく、あくまでも一般教養として）科目をつくれればいい。全体のカリキュラムの中に一部として組み込むのはいいと思うが、中心におくのは反対。この分野の人材を育成したとして、生活の糧として仕事にすることができる者がどれだけいるか疑問。ニーズの把握や将来の進路保障など未知の分野（特に文化芸術）であり、イベントや町おこしの感覚で学科・コースを変え、生徒・保護者が困るような編成はして欲しくない。漫画、アニメで将来生計を立てることは難しいのではないかと感じる。この分野は、情報系の専門教科や総合高校の選択教科などでの対応でよい。

## 既存の学科・コース等について

意見全体の傾向	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな学科の検討ではなく既存の学科を充実すべきとの意見が多数</li> <li>・総合学科については、存続・廃止の両方の意見があった</li> </ul>
主な意見	<p>総合学科は、設置当初より先細りしている。就職や進学につながらないのでは。日野高校の総合学科を1学級減らして福祉学科を設置してはどうか。</p> <p>目新しいことを不十分な内容で行っても一時の話題づくりに終わるだけ。新たな学科ではなく、既存の学科を充実すべき。</p> <p>平成10年に県下初の総合学科ができて13年が経過。導入の成果は上がったと思うし、第3の学科としての位置づけは定着したと思う。系列の再編等でさらに特色を出せるのではないかと感じる。</p> <p>県教委主導で行ってきたかつての学校再編や学科改編の総括が不十分。学科やコースをいじらず、スタンダードな普通科高校と専門高校へ戻すべき。</p> <p>総合学科はとても魅力的だと思うが、その良さを伝えきれていない。受験生だけでなく、中学1、2年生とその保護者への早めのアピールが必要だと思う。</p>

## 地域と連携した教育の推進

意見全体の傾向	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中山間地域の学校は廃止すべきという意見はなく、むしろ地域や地域の生徒のために、存続すべきとの意見が多数</li> <li>・地域活性化を図るためには、学校と地域の連携が必要</li> </ul>
主な意見	<p>日野高校はもっと地域（日野町）と連携していく必要がある。地域をあげて日野高校を応援し、日野高校から地域の人材を輩出するんだという機運が必要。そのためにも日野高校でも起業の学科を取り入れてほしい。</p> <p>岩美（岩美郡）、智頭農林（八頭郡）、日野（日野郡）には、たとえ2学級規模になったとしても、地域活性の観点から、情報発信の拠点、文化教育の中心としての役割を高校が担う意味でも存続が必要。倉吉農業は県下一校の農業高校として充実が必要。</p> <p>地域が超高齢化、超少子化で悩まされ、過疎化に拍車がかかる中、特色ある取り組みを行えばすぐに地域が活性化されるわけではない。従って、中長期的なスパンで地域との連携を考え、取り組みを継続していくことが大切。</p> <p>地域の企業・住民が高校生の学びに関わることによって、社会への興味や進路について幅が広がり深みも出て、地域側も高校生との繋がりができるので大いに進めて欲しい。調整、相互理解を密にして、子ども達に沢山の機会を与えてほしい。</p> <p>無理に地域と連携する必要はなく、様々なことを学校に取り入れれたり、絡めたりせず、落ち着いて各教科を学習することが大切。様々な事業などで行事が入り落ち着かないのではなく、時間割どおりに落ち着いて勉強に迎える環境を保証した方がよい。</p>

## その他の意見

特徴的な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中山間地域の学校は、規模は小さくなくても地域には必要であり、存続を希望</li> <li>・基礎学力を身につける教育を望む</li> </ul>
主な意見	<p>定員割れを起こさないためにも、高校の実情、高校の学習内容等をもっと地域住民に定期的にPRしてもらうこと。高校が地域の中にありながら浮き上がってしまったのはだめだと思う。特色のある学科・コースを設定することは大変よいと思うが、高校を卒業した生徒たちに何を期待するのか。一般的には、普通科の生徒は大学進学、専門高校の生徒はその道で就職することだと思う。特定の分野に偏った教育ではなく、基礎学力をしっかりとつけるべき。</p> <p>高校も少人数学級の導入をしてほしい。子どもたちの個性も多様化する中、以前のような一斉授業では、少子化時代の子どもたちには対応できないと思う。学科名をあまり変えず、幅のある名称にして社会的にも定着させ、時代への対応は授業の中身などで対応できないか。</p> <p>15歳で将来の職業を決めることは無理がある。工業や水産、商業などいろいろな科があってもいいが、あくまでも目的はその科の学習内容を通して、人の大切さを学べるものであってほしい。今の時代、企業も高校で学んだことを即使えることを期待していない。むしろ企業も、その会社で必要なことは入ってから教える。もっと別の力を求めていると思う。</p>

### 3 応募のあった意見を受けての基本方針への反映

平成25年度から平成30年度までの具体的な学級減や新たな学科やコースなどの編成にあたっては、地域や学校、保護者等の意見を幅広く聞きながら検討する。  
中山間地域の学校の魅力や特色づくりについては、地域と十分に連携を図りながら学校の在り方を検討する。

### 4 今後のスケジュール（予定）

- 4月～6月：基本方針（案）を検討
- 6月：常任委員会で報告
- 7月～8月：定例教育委員会で最終決定

# 今後の県立高等学校の在り方に関する基本方針(案)について、ご意見をお寄せください。

## 1 趣 旨

鳥取県教育委員会では、平成12年度以降、大幅な生徒数の減少や社会の変化への対応などを背景として、学校の統廃合や学級減、新しい学科・コースの設置など、大規模な高校教育改革を進めてきました。

しかし、今後も県内の生徒の数が大幅に減っていくことが見込まれています。このような中でも、学校・家庭・地域と連携しながら、魅力のある学校や特色のある教育内容を作り上げていくことが必要です。

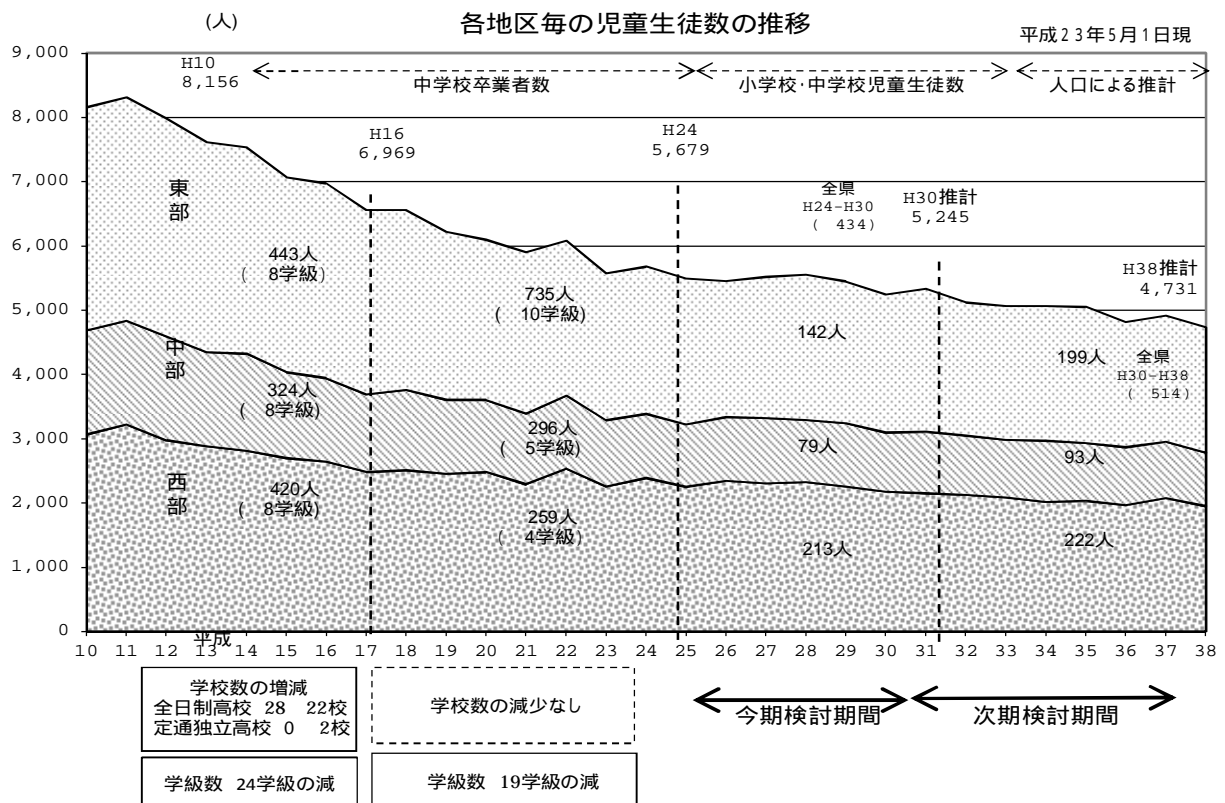
鳥取県教育委員会では、今後の県立高等学校の在り方について、学校や関係機関の意見を聞きながら検討を行ってきましたが、このたび、次の～の内容を中心に、今後の県立高等学校の在り方に関する基本方針(案)(平成25年度～平成30年度)をまとめましたので、これについて皆様のご意見をお聞かせください。

生徒減への対応

特色ある学科・コースの編成

地域と連携した教育の推進

今後の県立高等学校の在り方に関する基本方針(案)は、高等学校課のホームページに掲載しています。  
(<http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=76399>)



## 2 今後の県立高等学校の在り方に関する基本方針(案)の概要

### 生徒減への対応

平成30年度までに、県内の中学校卒業生数が400人程度減少することが見込まれています。そこで、県立高校では8学級程度の学級減を行いますが、今の学校数は維持します。

(計画期間中の学級減の予定)

年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30
削減学級数	← 8学級 →					

### 特色ある学科コースの編成

#### ➤ 環境エネルギーの分野

鳥取県では、次世代電力供給システム(スマートグリッド)社会の構築など、エネルギーシフトに向けた取組を進めていくこととしています。

スマートグリッドとは、情報技術(IT)を活用して、風力発電など再生可能なエネルギーを含む電力の流れを、供給する側、需要する側の双方からコントロールし、最適な状態を作っていくシステムです。

今後、世界的に推進されていくシステムで、産業界や地域からも大きな期待がかけられており、このような社会に対応できる、電気、制御、工業化学の知識を持った人材を育てるための学科やコースなどを編成します。

#### ➤ 福祉の分野

今後、ますます少子高齢化が進むと予想されています。このような中で、誰もが満足できる生活環境で暮らせる福祉社会の実現が求められています。

そのためには、高校段階で福祉への理解や関心を深めたり、将来の職業として福祉関係の仕事内容を学べるような場が必要となります。

そこで、幼児、老人、障がい者などを対象とする幅広く福祉について学ぶような学科やコースなどを編成します。

#### ➤ 文化芸術の分野

鳥取県には、古くから受け継がれてきた伝統と個性のある芸術や文化があり、また、まんがやアニメーションのメディア芸術など、新しい文化を創造する土壌もあります。

文化や芸術を創造したり、文化芸術活動を支えたり発展させたりする人材を育成するために、まんがを含むメディア芸術などの文化芸術分野を学ぶような学科やコースなどを編成します。

#### ➤ 既存の学科など

総合学科など既存の学科やコースなどについて、その成果や課題の検証を行い、必要な見直しを行っていきます。

[ 全日制高校の規模 (平成24年度募集学級数) ]

	3学級	4学級	5学級	7学級	8学級	計
普通科	岩美	倉吉西、 鳥取中央育英	倉吉東、境	八頭	鳥取東、鳥取西、 米子東、米子西	10校
専門学科	智頭農林、 倉吉農業	米子南	鳥取商業、鳥取工業、 鳥取湖陵、倉吉総合産業、 米子工業、境港総合技術			9校
総合学科	日野	青谷、米子				3校
計	4校	5校	8校	1校	4校	22校

タイプ	学 科 名
普通科系学科	普通学科、理数学科、理数工学科
専門学科	農業学科、工業学科、商業学科、水産学科、家庭学科、情報学科、福祉学科
その他の学科	総合学科

### 地域と連携した教育の推進

本県の中山間地域にある高等学校では、生徒数の減少に伴い、入学者が募集定員を満たしていない学校もあり、このまま学校の小規模化が進めば、将来的に学校の存続が危うくなることも考えられます。他県では、地域と連携した特色のある取組を行うことで、入学希望者が増え、学校や地域の活性化が図られているような例もあります。今後も生徒数が減少する中で、地域と連携した特色のある学校づくりを進めるとともに、地元市町村教育委員会と連携した小・中・高一貫教育校の設置や、隣県自治体と連携した新しい運営形態の高等学校づくりなどについても、幅広く検討していきます。

みんなで描こう!!  
活力と魅力ある高校未来像!!



### 3 募集期限

平成24年3月23日(金)まで

### 4 ご意見の提出方法等

- (1) 応募・問合せ先 鳥取県教育委員会事務局高等学校課 電話:0857-26-7517
- (2) 提出方法 次のいずれかをお願いします。  
 郵 送 : 〒680-8570 (住所記載不要、郵便番号のみで届きます。)  
 ファクシミリ : 0857-26-0408  
 電子メール : koutougakkou@pref.tottori.jp  
 意見箱への投稿など : 高等学校課、県民課、各総合事務所県民局、県立図書館に設置している意見箱へ投函してください。また、市町村役場の窓口でも応募できます。
- (3) 今後の県立高等学校の在り方に関する基本方針(案)(平成25年度～平成30年度)の閲覧方法  
 高等学校課のホームページに掲載しています。また、県庁県民課、各総合事務所県民局及び県立図書館でも閲覧できます。(http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=76399)
- (4) 結果等の公表 後日、応募いただいたご意見とそれに対する対応方針を公表します。





## 「今後の県立高等学校の在り方に関する基本方針(案) (平成25年度～平成30年度)」についてのご意見

各設問の区分欄の該当する にチェックしていただき(☑、 など)、その理由・ご意見を記入してください

### 「生徒減への対応」へのご意見

区 分	賛 成	どちらかといえば賛成	どちらかといえば反対	反 対
理由・ご意見				

### 「特色ある学科・コースの編成」へのご意見

#### 【環境エネルギーの分野】

区 分	賛 成	どちらかといえば賛成	どちらかといえば反対	反 対
理由・ご意見				

#### 【福祉の分野】

区 分	賛 成	どちらかといえば賛成	どちらかといえば反対	反 対
理由・ご意見				

#### 【文化芸術の分野】

区 分	賛 成	どちらかといえば賛成	どちらかといえば反対	反 対
理由・ご意見				

#### 【既存の学科など】

--

### 「地域と連携した教育の推進」へのご意見

--

その他、鳥取県の高校教育全般についてご意見があれば、ご自由にお書きください。

ご意見ありがとうございました。差し支えなければ、下記もご記入をお願いします。

(お住まいの市町村名)		
(年代)	歳代	(性別)